

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 87



黒鳥山公園
和泉市

戦後75年—戦争と平和を 考える三つの戦跡

720本のソメイヨシノが

和泉市の陸上自衛隊信太山駐屯地に隣接する黒鳥山公園は、信太山丘陵の高台にあります。市内外にひらかれた眺望を楽しめるとともに、公園内にはソメイヨシノなど720本の桜が植栽され、春にはライトアップされた満開の桜を目当てに市内外からの花見客でにぎわう市民の憩いの公園です。



満開のソメイヨシノの並木道
(和泉市公式HPより)

戦争と軍隊を三つの 立場から語る戦跡

その公園内に今も残されている貴重な戦跡があります。一つは、陸軍墓地ともいわれる「忠霊塔」で、太平洋戦争中に建てられ、約3000人の戦死者が眠ること。軍人の



和泉市出身の反戦兵士・阪口喜一郎顕彰碑

死を顕彰し国民を戦争に協力させる役割を担ったものです。もう一つは「天皇駐蹕（ちゅうひつ）碑」。1898年（明治31年）に泉州一帯で行われた旧陸軍大演習を明治天皇が黒鳥山で観覧したことを記念したものです。

最後に、阪口喜一郎顕彰碑です。日本が本格的な中国侵略を始めた頃、和泉市出身の阪口らが呉軍港内で反戦平和の新聞「聳（そび）ゆるマスト」を発行し、憲兵隊に検挙され獄死した不屈の生涯を顕彰したものです。

戦争に駆り出され亡くなった人、戦争を推進した人、戦争に反対してたたかった人という三様から戦争と平和を考えることができます。

Culture Navi かるちやーなび

作 り ま せ ん か



茄子と豚肉の みそ炒め

交野市職労 国武 裕次さん

協力：現業評議会・給食部会

食欲がおちる夏に ご飯がすすみます



材料（4人分）

豚バラ肉120g、茄子120g、キャベツ40g、菜種油0.4g
調味料（赤みそ12g、みりん4.8g、砂糖4.8g）

作り方

- ①豚バラ肉は20～30ミリの長さに切る。
- ②茄子はガクを落としタテに半分に切り、10ミリの半月に。1分ほど水にさらし、水気をよくふき取る。
- ③キャベツは30ミリ幅に切る。
- ④調味料の赤みそはみりんで軽くといておく。
- ⑤フライパンで油を熱し、豚バラ肉を入れて中火で炒める。
- ⑥豚肉に火が通ったら、水気をきった茄子・キャベツを加えて炒めあわせる。
- ⑦茄子に油が回りしんなりとしたら調味料を加え、汁気がなくなるまで炒め煮て、全体に味がなじんだらできあがり。

※茄子は、水分が出てきやすいので、強火で炒めてください。

世界で愛された4姉妹の成長物語

原作の「若草物語」は1868年に、ルイーザ・メイ・オルコットが書いた自伝的小説です。19世紀後半のアメリカを舞台に、ピューリタンであるマーチ家の4人姉妹を描いた物語です。原作は続篇として「第四若草物語」まであり、姉妹の成人・結婚やその後の生活が描かれています。

女優を夢見るしつかり者の長女メグ（エマ・ワトソン）、作家をめざす行動的な次女ジョー（シアーシャ・ローナン）、ピアニストの三女ベス（エリザ・スカンレン）、画家になりたい頑固な四女エイミー（フロレンス・ピュー）の4人姉妹です。そんな個性あふれる4人をいつも愛情に満ちた包容力で接する母

親。単なる少女ではなく一人の立派な女性として、恋愛、職業、結婚、宗教、教育、家族を見つめていきます。時代が時代だけに現在からみると限界もありますが、生き生きとした生活と幸福を追求する家族の生き方には共感できます。

「若草物語」はこれまでも世界中で、映画、演劇、テレビドラマ、アニメとして愛されており、映画ではとくに1933年作品でキャサリン・ヘプバーン、1949年作品ではエリザベス・テイラーが出演。近年では1994年、2018年にも映画化されています。上映時間は135分。映画館での鑑賞時はコロナ感染防止の対策をして鑑賞しましょう。（写真は映画のパフレットから）

心に響くこのひとこと

しんじつだけが
魂をうつ
相田 みつを
(1924年～1991年)
日本の詩人・書家

平易な詩を独特の書体で書いた作品で知られます。書の詩人、いのちの詩人と称されています。「にんげんだもの」の詩人・書家。人間の有り様、生き方、いのちの尊さなど、自分の弱さをさらけ出す名言・格言がたくさんあります。11月1日の「住民投票」を前にして、ウソとペテンの維新には負けない。ごまかしてもアカン！ちゃんと真実を伝えたら…人々の心（魂）に響くはず。真実に勝るものはない！そんな気持ちを後押ししてくれる“みつを”のことばです。大阪中に真実に広げよう！

今月の 記念日

国際青少年デー
8月12日

1991年の第1回「国連システムにおける世界青少年フォーラム」で青少年を取り巻く諸問題が提起され、1998年8月12日「第1回青少年に関する世界閣僚会議」で8月12日を「国際青少年デー」と宣言する決議が採択され、翌年の国連総会でそれへの支持が表明されました。国連総会は「行動計画」を勧告し、その前文では「青少年は大きな社会変革を引き起こす当人であり、受益者であり、また犠牲者である」として、青少年間と各国政府、国際連合などあらゆるレベルで新たな協力体制を確立して「行動計画」をすすめることが呼びかけられています。